



夢中になれる
明日をサポート

2026年度
第4期

ご寄付のお願い

学校法人名古屋学院
名古屋中学校・高等学校

敬愛寄付金



理事長
大島 信二
(昭和47年卒)

あなたの思いが、学びを支える

本学院は、1887年の創立以来、多くの皆様の温かなご理解とご支援に支えられ、生徒一人ひとりの学びと成長を見守り続けてまいりました。これまでに寄せられたご厚志に、心より感謝申し上げます。皆様からのご支援は、教育環境の整備・充実のために大切に活用させていただき、本学院の教育活動を支える大きな力となっております。

時代の変化とともに、教育を取り巻く環境や求められる学びの内容は大きく変わりつつありますが、安心して学び、心を育てる教育の重要性は今後も変わることはありません。現在、本学院では、教育活動の更なる充実と、安全で快適な学習環境の整備を目的として、施設・設備の計画的な更新に取り組んでおります。これらの取り組みを着実に進め、次の世代へよりよい学びの場を引き継いでいくためには、皆様のお力添えが欠かせません。本趣意にご賛同いただき、未来を担う生徒たちのために、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



校長
加藤 与仁

学校法人 名古屋学院
理事長 大島 信二

名古屋中学校・名古屋高等学校
校長 加藤 与仁

高

2025年度(第3期) 敬愛寄付金 ご寄付総額(3月16日現在)

40件 [総額] 2,600,000円

校舎等照明設備のLED化工事・ICT教育環境整備等に活用させていただきました。
(詳細は6月末発行の学院報および当学院ホームページ内にて掲載します。)



ホームページには中高それぞれの部活動紹介もあり、日々の生徒の様子は公式 facebook、インスタグラムに写真と共に更新されます。機会がありましたら是非ご覧ください。

HP



facebook



Instagram





名古屋高等学校
2025年度後期
生徒会会長

3年生
水野 瑛仁

名古屋高校の最大の長所は、その活気だと私は考える。授業での真剣な議論、放課後に響く部活動の声。男子校という特性と「文武両道」を本気で追求する姿勢が合わさり、それぞれの個性が輝き、活気が生まれる。私は名古屋高校こそそのような学校だと思う。

私自身、生徒会長として奉仕する傍ら、将来に夢と希望を持ち、進路を定め、日々研鑽を重ねている。周囲を見れば、部活動で全国を目指しながら勉学にも励む仲間や、将来の夢に向けて努力を惜しまない仲間がいる。その姿に刺激を受け、互いに高め合える環境がここにある。

生徒一人一人が輝ける学校を、生徒自ら創っていく。そんな生徒会活動の理念を体現し、そして様々な政策を実現に至らしめることができるよう、これからも生徒の代表たる生徒会役員として、全力で活動に臨んでいく所存である。全ての名高生が誇りを持ち、よりよい学校生活、そしてよりよい未来のため進んでいけるような名高を創っていきたい。



今
そして
未来へ！



名古屋中学校
2025年度後期
生徒会会長

3年生
高木 大輝

僕は後期の生徒会長を務め、体育祭や音楽祭などの学校行事の運営に関わりました。また、クリスマスの朗読といった取り組みにも挑戦しました。会長としての経験を通して、人前で話す力や先輩達や後輩達と仲間で物事を進めるチームワークの大切さを学びました。特に、新しいことを実現させるようにするために、計画的に準備を進めて、期限までに完成をさせる責任感がすごく必要であることを実感しました。多くの難題に直面する上で自分が未熟であることにも気付くことができ、生徒会活動を通して大きく成長することができたと感じています。将来社会に出たときには、名古屋中学校での生徒会経験を活かせるよう、これからも努力をしていきたいです。

寄付金募集要項

募集の趣旨 創立150周年に向けて、名古屋中学校・名古屋高等学校の質の高い教育を持続するため、恒常的に寄付金を募集し、本校の教育環境の整備充実を目的とします。

寄付金の使途

1 教育設備の更新費用



2026年度以降は、本校の象徴ともいえるクライン・メモリアル・チャペルの耐震補強を目的とした部分改修を予定しております。同チャペルは生徒たちが日々の礼拝を通して心を整える大切な場であり、入学式や卒業式などの各種式典の会場として使用されています。いただいたご寄付につきましては、同チャペルの耐震改修費用の一部として大切に活用させていただきます。

2 ICT教育環境の充実のための費用



近年のICT教育の高まりを受け、これまで様々な通信設備・教育機器を導入してまいりました。今後これら設備・機器を更新し、本校のICT教育環境を更に充実させるための費用の一部とさせていただきます。

3 その他

上記(1)～(2)の他、特に用途を定めず教育環境の整備充実に充てさせていただきます。

目標額	5,000万円	募集地域	日本国内
対象	目的にご賛同いただける法人、個人、卒業生、在校生の保護者及び本校関係先のみならず		
金額	個人寄付 一口 5,000円より / 法人寄付 一口 20,000円より		
期間	〔第4期〕2026年5月1日～2027年3月31日〔第5期〕2027年5月1日より開始予定		
募集した寄付金の管理方法	個人及び法人からの寄付金は、用途ごとに区別した上で学校会計の「寄付金収入」で受け入れ、寄付金専用の銀行口座で管理してまいります。毎年度1回以上、寄付金についての事業報告を広報誌「名古屋学院報」及び「本校ホームページ」に掲載し、ご寄付をいただいた皆様へのご報告とさせていただきます。		

2025年度の様子

グラウンドからはチャペルとナゴヤドームの姿が。

体育祭



2学期はIONAのギャププレイヤーが来校し、週3日チームティーチングに参加しました。年齢の近い豪州の好青年と多くの名中生が交流を持ちました。

進学講座



長期休暇中の進学講座では、日常では経験できない授業を選択します。複数の教員の連携もあり、学びも深まります。↑観察・調理など時間をかけて一貫した指導も受けられます。

夏の名中説明会



名中生扮する名中防衛隊が受験を考えている小学生達を応援に!

伝道週間



日ごろの勉学や年間行事も精一杯取り組んでおります。文学部・写真部など文化系クラブも例年通り多数活躍をみせました。9月19日予定の愛校祭にも是非お越しください。

愛校祭

←キリストの降誕をテーマにした作品に取組みました。

返礼品

第4期は「敬神愛人」を刻んだお箸が加わりました。また、10月末まで(予定)のお申込に限り【本校限定パッケージ】のクッピーラムネを添えてお送りします。

<p>1口</p> <p>期間限定 個人で3,000円以上ご寄付の場合、こちらの品をお選びいただけます</p> <p>A クリアフォルダー 4枚(同柄)</p> <p>B タオル</p>	<p>2口～</p> <p>A オリジナル箸</p> <p>B ピンバッチ</p>
<p>4口～</p> <p>A 扇子</p> <p>B ネクタイピン</p> <p>C ロゴ入りポーチ (A7聖書サイズ)</p> <p>D クッピーラムネ (11g 30袋入) 先着順 10月末迄(予定)</p>	<p>10口～</p> <p>A オリジナルパーカー</p> <p>B ネクタイ</p>

これまでの歩み

2025年は数年ぶりにオーストラリアIONAからの短期留学生を迎えるなど、国際交流が盛んになりました。ICTの発展により手元で手軽に遠方とのやりとりのできる現代でも、直接顔を合わせた交流は若い生徒たちにとって大いに刺激となりました。創立以来、海外との交流は貴重な経験の場となっております。



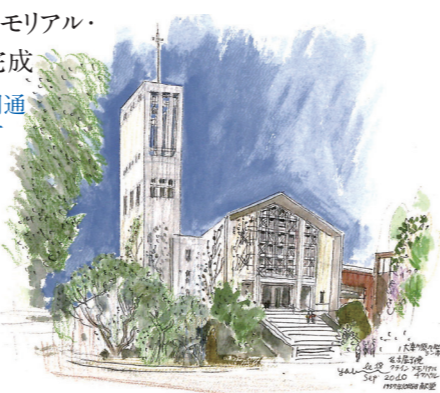
りとりのできる現代でも、直接顔を合わせた交流は若い生徒たちにとって大いに刺激となりました。創立以来、海外との交流は貴重な経験の場となっております。

[創立者] 宣教師
フレデリック
C.クライン博士



1957年 (昭和32年)

- クライン・メモリアル・チャペル完成
- 市営地下鉄開通
名古屋一栄町



1887年 (明治20年)

- 7月11日 宣教師 F.C.クラインが南武平町に「私立愛知英語学校」を開校
- 9月 「名古屋英和学校」と改称

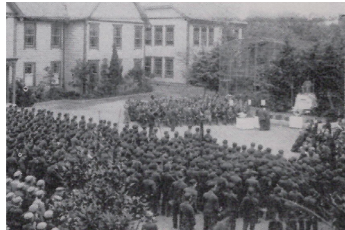
長久寺校舎は戦禍で焼失し、戦後少ない教員と共にあちこちの学校に間借りして授業再開。二部制で授業の時期もありました。インフレ等世の混乱で資材の盗難対策も必要などの状況下、少しずつ校舎を再建し、日常を取り戻しました。



長久寺校舎は3度の空襲で戦災消失

1898年 (明治31年)

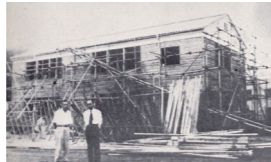
- 長久寺校地へ移転



1940年の50周年記念事業で本校舎前に集う人々。前年教室で倒れ退任した木村校長の銅像除幕式の様子。

1946年(昭和21年)～

- 同窓生・父兄のご尽力により空襲で焼失した校舎を再建



1906年(明治39年)

- 「私立名古屋中学校」開校

[昭和初期]
校友会 活動活発

1909年 (明治42年)

- 同窓会設立

1920年(大正9年)

- 「名古屋中学校」と改称



1926年
Meigaku
創立100周年
校旗を囲む

1947年 (昭和22年)

- 新制名古屋中学校設立

1925年(大正14年)

- 「曙の蒼空(そら)」が第一校歌と定められる



1948年 (昭和23年)

- 新制名古屋高等学校設立



1月4日に行われた二十歳の礼拝の様子です。昨年OB有志で結成されたグリークラブが壇上に上がり、二十歳を迎えた卒業生たちと第二校歌を合唱しました。

1964年(昭和39年)

- 「名古屋学院大学」開学
1968年に瀬戸品野へ移転。

1973年(昭和48年)

- 名古屋学院大学が学校法人名古屋学院より分離別法人となる

2000年 (平成12年)

- 校名を「名古屋中学校」「名古屋高等学校」に戻す。

1999年(平成11年)

- 高山ホール竣工



2002年(平成14年)

- 新高山ホール竣工



赤レンガ調の現在の校舎群は英国パブリックスクールを思わせる佇まいです。

キャンパスマップ

施設の中もご覧いただけます。
<https://www.meigaku.ac.jp/about/campus-map/>

1995年(平成7年)

- エンブレム完成



- 地下鉄名城線「砂田橋」駅まで開通

2004年(平成16年)

- 環状地下鉄「名城線」全線開通

2003年(平成15年)

- 115館(現3号館)竣工

2017年 (平成29年)

- 全教室にプロジェクター設置



2011年(平成23年)

- 新校舎・高山スポーツセンター竣工
- 北グラウンド竣工(人工芝グラウンド)



2011年 校舎群竣工直後の航空写真。手前に旧4号館屋上が見えます。北グラウンドは人工芝への整備中でした。



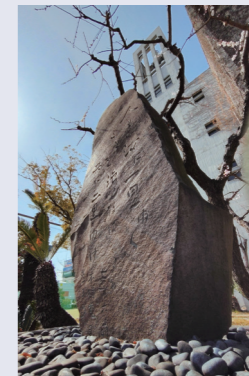
第6代(1909~1939)校長
木村 克己先生



厳かなチャペル内
2026.2.25 FB記事へ

名古屋学院は、多くの皆様の温かなご支援とお力添えに支えられ、この夏、創立139年目を迎えます。その長い歩みの中で、創立者クライン博士と並び、本学院の精神と教育の礎を確かなものとした人物が、第6代校長 木村克己(1951年没・享年78歳)です。

大正から昭和初期にかけて、社会が次第に戦時体制へと傾く中であっても、木村校長は英語教諭として自由主義的な私学精神を守り続けました。1910(明治43)年に校長に就任し、1939(昭和14)年に授業中に倒れるまで教育の現場に立ち続けたほか、敬愛同窓会の設立や理事長としての学院運営など、生涯にわたり名古屋学院の発展に尽力しました。現在、チャペルのエントランスに置かれた胸像は、本学院が多くの人の志と支援に支えられてきたことを、今も静かに語りかけています。



↑チャペル左下には晩年の木村先生左手の書を刻んだ石碑があります。60周年の折長久寺校舎の銅像跡に建てられました。



For the Future

所定欄をご記入ののち、学校法人名古屋学院までご郵送下さい。また、**※印**の箇所は必ずご記入下さい。

個人用

敬愛寄付金（第4期） 寄付申込書

私立学校法第3条に規定する学校法人が設置する学校教育法第1条に規定する学校の教育に必要な費用若しくは基金に充てるため、下記のとおり寄付を申し込みます。

西暦 年 月 日

学校法人 名古屋学院
理事長 大島 信二 殿

寄付申込者

※【住所】 〒 - -

※【氏名】 _____ ※【振込人名義】(カナ) _____

【卒業年】(同窓生のみ) 西暦 _____ 年 3 月卒
(電話番号 - -) (Email: @)

1. 寄付金の額 ※ 金 _____ 円
2. 寄付金払込予定日 ※ 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日
払込金融機関 ※ _____ 銀行・信用金庫・信用組合

個人：一口 5,000円より
(一口未満のご寄付も
ありがたくお受けいたします
今期は3,000円のかたより
返礼品をご指定頂けます。)

3. 指定事項
(1) 指定法人名 学校法人 名古屋学院

振込先 三菱UFJ銀行 東支店
普通預金 0747749
学校法人名古屋学院 寄付金口

(2) 寄付金の使途 教育設備の更新費用
 ICT教育環境の充実のための費用
 特に使途を定めない
※使途をお選びいただき✓印をご記入下さい。ご指定のない場合、「特に使途を定めないもの」として取り扱い致します。

(3) 寄付者の顕彰 名古屋学院報への氏名の記載を承諾 する ・ しない
名古屋学院報への寄付額の記載を承諾 する ・ しない
※名古屋学院報への記載についてご指定下さい。ご指定のない場合、ご芳名、ご寄付額共に記載致しません。

(4) 返礼品の選択： 第4期(個人)は、3,000円以上ご寄付頂いた方にお選びいただけます。
右欄にアルファベットでご希望の品をご指定下さい。
返礼品内容は2ページ目(K2)にてご覧いただけます。
ご指定のない場合、Aを送らせていただきます。



C,Dは 4~9口の場合のみ

4. 通信欄 ~ご自由にお書きください~

【個人情報の取り扱い】 寄付者芳名録管理・御礼状・返礼品発送等の寄付金募集業務以外には使用致しません。

(事務処理欄) 敬愛 受付番号 _____ 受付日 _____

キリトリ

申込方法

[記入例]

個人用

所定欄をご記入ののち、学校法人名古屋学院までご郵送下さい。また、**※印**の箇所は必ずご記入下さい。 個人用

敬愛寄付金(第4期) 寄付申込書

私立学校法第3条に規定する学校法人が設置する学校教育法第1条に規定する学校の教育に必要な費用若しくは基金に充てるため、下記のとおり寄付を申し込みます。

西暦 2026 年 5 月 1 日

学校法人 名古屋学院
理事長 大島 信二 殿

寄付申込者
※【住所】 〒461-0045
名古屋市東区砂田橋 7丁目8-9

※【氏名】 敬愛 太郎 ※【振込人名義】(カナ) ケイアイ タロウ

【卒業年】(同窓生のみ) 西暦 1990 年 3 月卒 ※【年齢】 6A
(電話番号 052-721 00XX) (Email: t.nagoya@nagoya-gakuin.ed.jp)

1. 寄付金の額 ※ 金 5,000 円
2. 寄付金払込予定日 ※ 西暦 2026 年 5 月 8 日
払込金融機関 ※ 愛知東 砂田橋 支店

3. 指定事項
(1) 指定法人名 学校法人 名古屋学院
(2) 寄付金の使途 教育設備の更新費用
 ICT教育環境の充実のための費用
 特に使途を定めない
(3) 寄付者の顕彰 名古屋学院報への氏名の記載を承諾 する ・ しない
名古屋学院報への寄付額の記載を承諾 する ・ しない
(4) 返礼品の選択： 第4期(個人)は、3,000円以上ご寄付頂いた方にお選びいただけます。
右欄にアルファベットでご希望の品をご指定下さい。
返礼品内容は2ページ目(K2)にてご覧いただけます。
ご指定のない場合、Aを送らせていただきます。

4. 通信欄 ~ご自由にお書きください~

【個人情報の取り扱い】 寄付者芳名録管理・御礼状・返礼品発送等の寄付金募集業務以外には使用致しません。
(事務処理欄) 敬愛 受付番号 _____ 受付日 _____

法人用

所定欄をご記入ののち、学校法人名古屋学院までご郵送下さい。また、**※印**の箇所は必ずご記入下さい。 法人用

敬愛寄付金(第4期)・特定公益増進法人寄付・法人申込書

私立学校法第3条に規定する学校法人が設置する学校教育法第1条に規定する学校の教育に必要な費用若しくは基金に充てるため、下記のとおり寄付を申し込みます。

西暦 2026 年 5 月 7 日

学校法人 名古屋学院
理事長 大島 信二 殿

寄付申込者
※【住所】 〒461-0045
名古屋市東区砂田橋 8丁目9-10

※【法人名】 株式会社〇〇〇〇

※【振込人名義】(カナ) カ) 〇〇〇〇 ※【代表者名】 敬愛 太郎

※【担当人名】 長久 次郎
(電話番号 052-721 XXXX) (Email: cho.kyu@nagoya-gakuin.ed.jp)

1. 寄付金の額 ※ 金 100,000 円
2. 寄付金払込予定日 ※ 西暦 2026 年 5 月 8 日
払込金融機関 ※ 愛知西 大幸 支店

3. 指定事項
(1) 指定法人名 学校法人 名古屋学院
(2) 寄付金の使途 教育設備の更新費用
 ICT教育環境の充実のための費用
 特に使途を定めない
(3) 寄付者の顕彰 名古屋学院報への氏名の記載を承諾 する ・ しない
名古屋学院報への寄付額の記載を承諾 する ・ しない
(4) 返礼品の選択： 右欄にアルファベットでご希望の品をご指定下さい。
返礼品内容は2ページ目(K2)にてご覧いただけます。
ご指定のない場合、Aを送らせていただきます。

4. 通信欄 ~ご自由にお書きください~

【個人情報の取り扱い】 寄付者芳名録管理・御礼状・返礼品発送等の寄付金募集業務以外には使用致しません。
(事務処理欄) 敬愛 受付番号 _____ 受付日 _____

税務手続きに必須になる領収書の宛名は印部分になります。

お問い合わせ

当校法人課までお問合わせください。尚、下記HPにて詳細をご覧いただけます。
申込書ダウンロードも可能です。 <https://www.meigaku.ac.jp/kifu>



税制上の優遇措置について

個人の場合

所得税法上の寄付金控除

本校へのご寄付は所得税法第78条の寄付金に該当するもので、確定申告の際、「所得控除」を受けることができます。
確定申告に必要な「寄付金受領証明書(以下 領収書)」「特定公益増進法人証明書(写)」は、ご入金確認後に郵送させていただきます。

所得控除 (年間寄付合計額^{※1} - 2,000円) × (所得金額に応じて5%~45%) = 寄付金控除額(100円未満切捨)

※1 年間総所得金額の40%を限度とする。 ※2 本校に在学中の方またはそのご家族よりご寄付いただく場合、入学願書受付の開始日より入学年の12月末日迄の間は、税法上「学校の入学」に関する寄付金とみなされ所得控除の対象とはならない場合があります。詳細はお住まいの地域を管轄する税務署までお問い合わせください。

個人住民税の寄付金控除

本校は名古屋より「寄付金税額控除の対象となる寄付先」の指定を受けています。名古屋市にお住まいの方は、確定申告をすることにより個人住民税から寄付金控除を受けることができます。※内容の詳細については、名古屋市の税務担当課へお問い合わせください。

特定公益増進法人に対する寄付金

特定公益増進法人に対する寄付金

本校が指定を受けている「特定公益増進法人」に対する寄付として、以下のように免税措置を受けることができます。
次のいずれか少ない額が損金に算入されます。

(1) 特定公益増進法人に対する寄付金の合計額
(2) 特別損金算入限度額 [資本金等の額 × 当期の月数/12 × 3.75/1,000 + 所得の金額 × 6.25/100] × 1/2

※特定公益増進法人に対する寄付金のうち損金に算入されなかった金額は、一般の寄付金の額に含めます。

お申し込みの流れ

- 1 左記個人/法人申込書(コピー可)にご記入いただき、お手数ですが当校事務局法人課までご郵送下さい。
- 2 ご記入いただいた金融機関より振込みください(恐れ入りますが振込手数料はご負担下さい)。
- 3 ご入金を確認後、お礼状および「領収書」「特定公益増進法人証明書(写)」をお送りします(通常1か月ほど要します)。

「領収書」および「特定公益増進法人証明書(写)」は寄付金控除のお手続きに必須となりますので大切に保管ください。

お申込み先：学校法人名古屋学院 事務局 法人課 〒461-8676 名古屋市東区砂田橋二丁目1番58号
お問合せ：kifu@meigaku.ac.jp Tel.052-721-5271(代表)

所定欄をご記入ののち、学校法人名古屋学院までご郵送下さい。また、**※印**の箇所は必ずご記入下さい。

法人用

敬愛寄付金〈第4期〉 - 特定公益増進法人寄付 - 法人申込書

私立学校法第3条に規定する学校法人が設置する学校教育法第1条に規定する学校の教育に必要な費用若しくは基金に充てるため、下記のとおり寄付を申し込みます。

西暦 年 月 日

学校法人 名古屋学院
理事長 大島 信二 殿

寄付申込者

※【住所】 〒 -

※【法人名】

※【代表者名】

※【振込人名義】(カナ) _____ (または個人名) _____ (印)

※【担当者名】 _____
(電話番号 - -) (Email: @)

1. 寄付金の額 ※ 金 _____ 円

法人： 20,000円より
(20,000円未満のご寄付も
ありがたくお受けいたします)

2. 寄付金払込予定日 ※ 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

払込金融機関 ※ _____ 銀行・信用金庫・信用組合
_____ 支店

3. 指定事項

(1) 指定法人名 学校法人 名古屋学院

振込先 三菱 UFJ 銀行 東支店
普通預金 0747749
学校法人名古屋学院 寄付金口

(2) 寄付金の使途 教育設備の更新費用
 ICT教育環境の充実のための費用
 特に使途を定めない

※使途をお選びいただき✓印をご記入下さい。ご指定のない場合、「特に使途を定めないもの」として取り扱い致します。

(3) 寄付者の顕彰 名古屋学院報への法人名の記載を承諾 する ・ しない
名古屋学院報への寄付額の記載を承諾 する ・ しない

※名古屋学院報への記載についてご指定下さい。ご指定のない場合、ご芳名、ご寄付額共に記載致しません。

(4) 返礼品の選択 右欄にアルファベットでご希望の品をご指定下さい。
返礼品内容は2ページ目(K2)にてご覧いただけます。
ご指定のない場合、Aを送らせていただきます。

C,Dは4~9口の場合のみ

4. 通信欄 ~ご自由にお書きください~

当法人は「特定公益増進法人」の指定を受けておりますので、ご寄付を頂いた場合は損金算入の措置が認められています。

【個人情報の取り扱い】 寄付者芳名録管理・御礼状・返礼品発送等の寄付金募集業務以外には使用致しません。

(事務処理欄) 敬愛 受付番号 _____ 受付日 _____ . _____ . _____